

評価者	こどもみらい部長	平井あかね
-----	----------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て支援施設の整備
目標とすべきまちの姿	子ども会館や子育て支援センターなどの子育て支援施設の充実により、すべての子どもたちが健やかでのびのびと成長できる環境が整っています。また、保育施設の整備が進み、待機児童数が減少しているとともに、子どもの家(学童保育)の利用者数の増加に対応した施設の整備が図られています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	21.9%	平成30年度(2018年度)	23.8%	平成29年度(2017年度)	21.1%
	平成28年度(2016年度)	23.4%	平成27年度(2015年度)	24.9%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.9%	1.0%	0.8%
ちょうどよい	2.6%	40.0%	1.9%
効果不十分	2.4%	2.7%	17.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.0%	0.8%	0.7%
ちょうどよい	2.0%	40.5%	1.8%
効果不十分	2.1%	3.0%	16.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.5%	1.8%	0.7%
ちょうどよい	4.0%	40.4%	2.5%
効果不十分	2.8%	2.8%	16.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.0%	1.2%	0.5%
ちょうどよい	3.7%	39.3%	0.7%
効果不十分	3.4%	3.6%	17.4%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.0%	1.4%	0.3%
ちょうどよい	3.0%	35.9%	2.4%
効果不十分	1.6%	3.3%	20.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	29.6%	36.6%	5.0%	28.8%
平成30年度(2018年度)	29.9%	35.9%	5.6%	28.6%
平成29年度(2017年度)	28.8%	40.2%	5.3%	25.7%
平成28年度(2016年度)	27.2%	40.5%	4.3%	28.1%
平成27年度(2015年度)	30.9%	36.6%	2.3%	30.2%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

①「おなり子どもの家等」は、当初設計段階で想定されていなかった構造部材の腐朽等を考慮した設計の修正を行い、工事の早期再開に向けた手続きを進める。また、公共施設再編整備計画において玉縄青少年会館閉鎖を令和2年度(2020年度)に計画しているため、現在の会館機能の1つである「たまなわ子ども会館・子どもの家」の移転についても、具体的な計画を策定する。(こども-06)

②拠点保育所整備は、事業敷地の候補地が定まった時点で、拠点保育所整備方針に基づく具体的な整備計画を定める。(こども-08)

③施設開設予定時期が遅れることから、用地計画作成時点で想定していた喫緊の課題の解消への対応は困難となっていること、また筆界特定制度により特定された筆界が、市が想定していた位置とは異なる結果となったことから、機能も含めた施設建設に向けた再整理を行う。(こども-09)

④待機児童対策の推進及び保育に係る供給水準の維持のため、保育所整備及び施設老朽化に伴う建替え事業等に対し補助を行う。(こども-16)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

①学童保育施設の利用者数の増加に対応するための施設整備であり、この課題の早期解決に向けた取組である。(こども-06)

②④私立保育所の運営維持や学童保育の民間参入に対して支援を行うことは、市全体の子ども支援環境の整理に寄与すると認識しており、子どもたちが健やかに成長できる環境の整備に繋がる。(こども-08、-16)

③岡本二丁目用地に整備する複合施設は、計画時点の前提条件と現状に乖離が生じていることから、現状に合わせた計画の修正を行うことで、有効な子育て支援施設の充実に繋がる。(こども-09)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
		令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
こども-06	子ども会館・子どもの家整備事業	1,493	32,106	1.6	1.9	無	d	A
こども-08	私立保育所等整備事業	302	683	1.6	0.0	無	d	A
こども-09	子育て支援施設等整備事業	0	0	0.2	0.3	無	c	-
こども-16	私立保育所等整備事業	655,720	200,117	1.5	1.5	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

①たまなわ子どもの家等を玉縄小学校敷地内に移転するため、用地測量及び地質調査を行った。また、入札により施設整備業者を選定した。(こども-06)

②腰越保育園の建替え用地の検討に向け、保育園隣接地の不動産鑑定評価事務を行った。(こども-08)

③筆界特定制度により特定された公法上の筆界位置が、市で想定していた位置とは異なる結果となったことから、都市整備部道水路管理課における隣接地との所有権界の整理等の進捗状況を確認しながら、関係各課と連携し事業着手までに整理しておく課題の共有を図った。(こども-09)

④待機児童対策のため、保育所を設置する事業者へ整備費に係る補助金を交付した。また、フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地及び旧横浜地方務局鎌倉出張所庁舎の賃借を行った。(こども-16)

【実施できなかった事業とその理由等】

①おなり子どもの家等は、「(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事設計修正業務」として外部委託を行ったが、3度の入札がいずれも不調であったため、委託業務の中で専門性の高い構造設計部分を外部委託とし、その他の設計業務については公的不動産活用課維持担当で行うこととした。(こども-06)

③土地所有者と所有権界の整理に向けて協議中であるため、計画施設の建設に向けた検討は行っていない。(こども-09)

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	□ 適切 ■ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

①学童保育施設(子どもの家)の待機児童対策を喫緊の課題として捉えており、早期解決に向けて、積極的に施設整備を進め、計画どおりに施設整備が進んでいる。学童保育のニーズは年々増加していることから、事業実施は妥当な取組であり、かつ有効に成果が得られていると考えている。(こども-06)

③相隣関係者との協議を要する諸課題の整理に時間を要しており、岡本二丁目用地計画に示された整備期間から遅れていることから、取組としては適切といえるが、今後の方向性を検討するに至れる段階にないことから成果としては十分でないと考えている。(こども-09)

④保育所を設置する事業者に対し安心こども交付金事業費補助金及び保育対策総合支援事業費補助金を基準に基づき交付しており、私立保育所等の安定的な施設運営に資する支援を行っていることから、受益機会においても適切な取り組みであると考える。(こども-16)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	こども-06	事業名	子ども会館・子どもの家整備事業							
指標の内容	子どもの家登録者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H29以降は指定管理施設を含む	
平成27年3月策定の「子ども・子育て支援事業計画」では、学童保育(子どもの家)のニーズ量見込に対して、平成31年度まで確保することとしているため。		目標値	-	1,691	1,673	1,686	1,666	1,666		
		実績値	1,355	1,649	1,719	1,765	1,577	1,463		
		達成率	-	97.5%	102.7%	104.7%	94.7%	87.8%		

整理番号	こども-08、-09、-16	事業名	私立保育所等整備事業、子育て支援施設等整備事業							
指標の内容	待機児童数(各年度4月1日現在)					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成30年度より待機児童の算出方法が変わり、潜在的待機児童が待機児童としてカウントされることとなったため、目標値の下方修正を行っている。	
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。		目標値	5	3	1	0	30	15		
		実績値	55	50	44	47	93	78		
		達成率	9.1%	6.0%	2.3%	0.0%	32.3%	19.2%		

整理番号	こども-08、-09、-16	事業名	私立保育所等整備事業、子育て支援施設等整備事業							
指標の内容	入所児童数(各年度4月1日現在)					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成30年度より待機児童の算出方法が変わり、潜在的待機児童が待機児童としてカウントされることとなったため、目標値の下方修正を行っている。	
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。		目標値	-	2,578	2,499	2,411	2,791	2,825		
		実績値	2,241	2,404	2,434	2,438	2,535	2,641		
		達成率	-	93.3%	97.4%	101.1%	90.8%	93.5%		